

⑨日本国特許庁
公開特許公報

⑪特許出願公開
昭52—96501

⑤Int. Cl.²
G 10 K 11/02
E 04 B 1/82

識別記号

⑥日本分類
102 A 2
86(4) C 152.1

庁内整理番号
6767—23
7521—22

④公開 昭和52年(1977)8月13日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭遮音材

②特 願 昭51—12868
②出 願 昭51(1976)2月10日
⑦発 明 者 満尾浩治

東京都杉並区永福3丁目37番12号
⑪出 願 人 満尾浩治
東京都杉並区永福3丁目37番12号

明 細 書

1. 発明の名称

遮音材

2. 特許請求の範囲

発泡体内に金属粉粒体又は金属繊維のような小径物を散在させてなる事を特徴とする吸音・防音性遮音材。

3. 発明の詳細な説明

本発明は発泡体内に金属粉粒体又は金属繊維のような小径物を散在させてなる事を特徴とする吸音性・減音性等に優れた遮音材に関する。

実施例1

2割より多量な発泡ウレタン原料と鉛微粉をタタリズルで噴射して混合し、ロールコンベヤー上でロールを利用して多孔金属板と積層し、多孔金属板2層内に、発泡ウレタンと鉛微粉の分散混合系よりなる発泡体層を設けられた遮音材をうる。

実施例2

粗にガラんで板状に成形された金属繊維板を

発泡性スチロール樹脂ペーストと共に密着内に入れ、蒸気で加熱し、金属繊維を均一に分散された発泡スチロール系遮音材をうる。

実施例3

シラスバルーンと金属繊維をバインダーで混合して、シラスバルーンと金属繊維の均一に分散された遮音材をうる。

本発明の遮音材には、その中に金属粉粒体や金属繊維を分散された、各種発泡プラスチックの他、水ガラス系発泡体・水ガラス系非水溶性発泡体・火山ガラス系発泡体・泡ガラス等の無機質系発泡体も含まれる。又発泡体には発泡スチロール球・シラスバルーン・ポリライト・その他の発泡粒を、金属繊維や金属粉粒体とともに有機質は無機バインダーで混合又は反応結合させたものを熱融着したものも含まれ、金属粉粒体及び繊維には鉛・銅・亜鉛・鉄・アルミニウム・銀・等の各種金属が使用され、尚ほ金属繊維には導電管を薄く輪切りにしたものも含まれる。

本発明の遮音材は詳記のように構成されるが、吸音性・散音性・減音性・遮音性等に優れた効果を有し、その造り或は紙・木板・木質合板・金属板・無機質繊維布・石棉スシート板・石膏ボード・耐アルカリ性ガラス繊維セメント板等のシート或は板状体と、これらの有孔板やシート等と積層する等して、広く用途に供することができる。

特許出願人 満 尾 浩 治